

1. サマースクールの報告

8月9-10日の2日間、北アルプス薬師岳において、1988年度サマースクールを行なった。案内者は、小泉武栄（学芸大）・高田将志（東大・院）・青柳章一（学芸大・学）の各会員であった。

8月9日朝、折立に集合し、まずお茶を一杯。以後、和気あいあいとした雰囲気の中で、観察・討論が進められた。薬師峠のキャンプ場までの登行のおりおり、植生・平坦な尾根・泥炭層等についての議論が行なわれた。また高田会員から、谷頭の堆積物の露頭を前に、説明が行なわれた。

小泉会員の配布した資料には、日付の横に既に「晴れ」と明記されていたのであるが、8月10日はあいにくの天気であった。それでも午前中は、薬師岳小屋より北西に下るガリによって作られた、長大な露頭を観察することができた。氷期の斜面形成、特に氷河に覆われていたのか、否かといった問題について、活発な議論が行なわれた。また、活断層らしき露頭・雪窪下部の直線状の崖・線状凹地についての観察から、山地のリニアメントについての議論も行なわれた。

午後は、小泉・青柳両会員による、植生と表層地質の関係・風化皮膜を用いた礫生産期の推定についての説明を聞きながら、薬師岳山頂を目指した。山頂は激しい風とガスで薬師岳カールを目にすることはできなかったが、それにもめげずにお茶を沸かし、談笑のうちに会を終えることができた。

（文責・伏島）

小泉武栄氏ほか、学芸大学のみなさまには、サマースクールのお世話をいただきました。感謝いたします。（事務局）

<参加者>

小泉武栄、高田将志、青柳章一、中野開智、岩田修二、山田周二、
早川栄一、清水長正、伏島祐一郎、池田明彦、高橋俊浩、関秀明、
岩船昌起、青木賢人、鴨志田泰、植木岳雪

2. 10月例会のお知らせ

今回は、極地・高山地形作業グループ、極地研究所共同研究グループとの共催でおこないます。

《研究発表と報告》

- 1) 小野・松岡・澤口 : スパールパール1988調査報告
- 2) 小疇 : コルジエラ氷床の地形(カナダでの巡検報告)
- 3) 林 : アムンセン湾リーザールセン山付近の地形(スライド映写)

《討論》

- 4) 極地研究所共同研究の今後の活動について
- 5) 極地・高山地形作業グループの今後の活動について

日 時 : 10月24日(月) 13:00 ~17:00

場 所 : 国立極地研究所(講義室)